

永瀬ダム湖ゴミ拾い

物部川流域ふるさと交流推進協議会（南国市・香南市・香美市・アクアリアルネットワーク）・ゴミのない物部川をつくる連絡会が主催となって、昨年10月26日に、永瀬ダム湖周辺の一斉清掃が行われました。雨の中の作業となりましたが、大板公園では拾ったゴミの分別や集計が行われました。参加者には食器の持参を呼びかけており、昼食時に、香美市林業婦人部による豚汁、おにぎりなどが参加者に振る舞われました。また、「海に浮かぶゴミ」パネル展示や、ダム湖の水質パックテストなどが行われ、「ダム・森・川・海」について考える機会となりました。



▲集められたゴミには自転車などの粗大ゴミも

物部川に感謝しよう！物部川祭り開催されました



▲香美市子ども会連合会の踊り

昨年11月9日、物部川河川敷（南国市）で「物部川祭り」この川にありがたうを言う日。くが開催されました。このイベントは、「自然の恵みに感謝する」という視点で、物部川に来て実態を直接見てもらい、川祭りをきっかけに物部川に感謝する意識を持ってもらおうと、物部川川祭り実行委員会と物部川21世紀の森と水の会が主催し、今回で2回目となりました。会場では、いざなぎ流神事が執り行われ、紙すきや、いざなぎ流の御幣切り教室などの体験コーナー、



▲しばてんゲームで盛り上がる子どもたち

環境に関するパネル展示コーナー、シカ肉やアユなど流域の食材の試食・販売コーナーがあり、大勢の人で賑わいました。このイベントも、来場者にマイコップ等の持参を呼びかけており、参加者は持参した食器を持ち、試食・販売コーナーに並んでいました。ステージ周辺では感謝を叫ぶ「大声コンテスト」を行い、山田太鼓の演奏、物部町在住の一江ウタカさんのコンサートや、香美市子ども会連合会によるよさこい鳴子踊りが披露され、さらに、出展者から物部川に感謝のメッセージが送られました。

森林の大切さについて学ぼう！

昨年11月8日、「ルネサスの森」パートナーズ締結に基づき、森林の整備と地域交流を目的として、ルネサステクノロジ高知事業所・香美市など4者により、「ルネサスフォレストランド2008」が開催されました。

当日は雨のため、香北青少年の家・香美市香北体育センターでの開催となり、ルネサステクノロジ高知事業所の社員や舟入・大宮小学校の児童など総勢110人が参加して行われました。

参加者は、高知中部森林管理署の川口流域調整官による「森林についての話」を聞き、その後「木の葉あてクイズ」、「木工クラフト」などを行いました。その中でも「木の葉あてクイズ」は大変な盛り上がりでした。机に並んでいる15種類の木を葉をじっくり観察し、家族や職場の仲間と相談しながら真剣にクイズに答えていました。お昼に

は、香美市林業婦人部から豚汁がふるまわれ、みんなでおいしく頂きました。

今回、香北町谷相にある東山市有林「ルネサスの森」でケヤキ・山ツツジの植樹や間伐体験が計画されていましたが、雨のため中止になりました。そのため、間伐体験を楽しみにしていた参加者は、非常に残念がっていました。

わずかな時間でしたが木とのふれあいや、森林の大切さなどを学ぶことにより、森林に関心を持つことができました。

◀木の葉あてクイズの様子

